問題番号	正答	配点
1 (1)	ふち	2
(2)	はんと	2
(3)	ほんい	2
(4)	こうてつ	2
(5)	いんにんじちょう	2
2 (1)	直（ちに）	2
(2)	干満	2
(3)	希求	2
(4)	会心	2
(5)	外（れ）	2
3 〔問1〕（解答例）	野球の練習に明け暮れていた少し前までの生活をむしょうに懐かしく思うとともに、練習のない夏休みにすっかり飽きている。（五十七字）	6
〔問2〕	エ	4
〔問3〕（解答例）	グラウンドは現役部員のもので、ＯＢが足を踏み入れてはいけないということが無言で引き継がれてきた大事なルールなので、渡瀬の行為は間違っているということ。（七十五字）	8
〔問4〕	イ	4
〔問5〕	イ	4
4 〔問1〕	エ	4
〔問2〕	ア	4
〔問3〕（解答例）	時間に関する観念は身に付けた後に、教養や常識のように自明な感覚として、身に付けた人間の側から主体的に自己を律するものとなるから。（六十四字）	8
〔問4〕	ウ	4
〔問5〕	（省略）	12
5 〔問1〕（解答例）	夫を亡くして茫然自失となっている状況。（十九字）	4
〔問2〕	ウ	4
〔問3〕	圧倒するばかりの美	4
〔問4〕（解答例）	本来身に収まっているはずの心が、感激や苦悩によって遊離して、虚脱状態になることを「あくがる」という動詞によって表現すること。（六十二字）	6
〔問5〕	ア	4